

東京都歴史文化財団におけるアクセシビリティ向上の取組

東京歴史文化財団（以下、当財団）は、あらゆる人が芸術文化を楽しめる共生社会の実現に向けて以下を目指し、段階的に環境整備を推進します。

- 1 あらゆる人が芸術文化につながり、**享受できる環境**が整備される
- 2 あらゆる人が豊かな芸術文化を**体験できる環境**が整備される
- 3 あらゆる人が豊かな芸術文化に**参画できる環境**が整備される

具体的な活動としては、文化施設や文化事業の活動フェイズに合わせて、

(1)「情報サポート」(2)「鑑賞サポート」(3)「参画サポート」

の3つのアプローチで、アクセシビリティ整備を展開していきます。

(1)「情報サポート」

人々が文化施設に来るまで／芸術文化の鑑賞・参加に至るまでの環境整備

意思疎通のためのコミュニケーションやサービス等、合理的配慮を踏まえた基礎的な整備を行います。ウェブサイト等情報発信に関わるアクセシビリティの向上や、各種情報提供やサービスの向上に取り組みます。

(2)「鑑賞サポート」

公演・展覧会の鑑賞体験やイベント・プログラムの参加体験を豊かにするため環境整備

文化施設での鑑賞や文化事業へ参加において、利用者や参加者必要な情報保障に関わる対応を拡充します。また、障害者・高齢者・乳幼児と保護者・外国にルーツがある人々等の多様なニーズに沿ったアクセスコーディネートに取り組みます。さらには、情報保障や多言語対応付きプログラムの整備や拡充を目指します。

(3)「参画サポート」

障害当事者やサポートを必要とする人々の参画を拡げるための環境整備

文化施設や文化事業のアクセシビリティに関わる活動の企画や運営、実践に障害当事者等が参画するための環境整備に取り組みます。

当財団では、文化施設や文化事業への物理的なアクセスだけではなく、経済的・社会的・文化的背景の異なる人々が等しくアクセスできるよう、心理的な親しみやすさも含め、広い意味でのアクセシビリティの向上を目指します。